

2016 日本パッケージングコンテスト食品包装部門賞を受賞

2016年9月7日

日本製紙パピリア株式会社

日本製紙パピリア株式会社（社長：三宅純生）は『2016 日本パッケージングコンテスト』において感熱包装帯（システム）で『食品包装部門賞』※¹を受賞しました。

『日本パッケージングコンテスト』は日本のパッケージの最高水準を決定するもので、公益社団法人日本包装技術協会が主催しています。材料、設計、技術、デザイン、ロジスティクス、販売促進、アイデア、環境対応、適正包装など、あらゆる要素を検討して各部門の年間の優秀作品を選定します。

食品包装部門賞

感熱包装帯（システム） 日本製紙パピリア株式会社

※¹ 株式会社寺岡精工（社長：片山 隆 住所：東京都大田区）との共同受賞です。



感熱紙とヒートシール剤を使用した包装システム機械用の帯です。従来、寿司、惣菜、お弁当の蓋付きトレイは、テープ留め、糊留め、輪ゴム留め、ひも留め、ヒートシール留めなどで封をされ、内容物の情報表記には別途ラベルシールが貼られていました。そこで、ヒートシールが可能な感熱紙で帯封をし、その上にタイムリーな情報を表記することにより、手間のかかる作業を軽減し、安全性と環境に配慮した省資源包装としました。

感熱紙はどこからでも切ることができ、ヒートシール部も配送や陳列時の力では外れにくく、開封時には容易に剥がすことができます。また、感熱紙なので記載できる領域が広くオンデマンド印字ができます。



■お問い合わせ先

日本製紙パピリア株式会社

特殊紙営業本部洋紙・産業用紙部 岡崎 剛

(TEL:03-6665-5890)

以上